



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 日立造船株式会社

コード番号 7004 URL <http://www.hitachizosen.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長兼COO

(氏名) 谷所 敬

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 中村敏規

TEL 06-6569-0022

四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	128,198	△3.8	△3,719	—	△3,880	—	△4,075	—
25年3月期第2四半期	133,230	6.4	1,894	16.9	2,045	28.6	803	△50.8

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △3,140百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 370百万円 (△81.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△26.03	—
25年3月期第2四半期	5.06	4.86

1株当たり四半期純利益については、平成25年10月1日付で実施した普通株式5株を1株とする株式併合を考慮した額を記載しております。また、前第2四半期の1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益についても、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	340,084	—	109,961	—	—	27.5
25年3月期	366,346	—	115,125	—	—	26.9

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 93,425百万円 25年3月期 98,414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.00	2.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想)期末配当金については、平成25年10月1日付で実施した普通株式5株を1株とする株式併合を考慮した額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	7.8	13,000	14.4	10,000	△11.1	7,500	1.2	47.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1株当たり当期純利益の予想は、平成25年10月1日付で実施した普通株式5株を1株とする株式併合後の発行済株式総数をもとにして算出しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	159,214,656 株	25年3月期	159,214,656 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	2,732,628 株	25年3月期	2,465,894 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	156,569,906 株	25年3月期2Q	158,767,073 株

期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)については、平成25年10月1日付で実施した普通株式5株を1株とする株式併合を考慮した数を記載しております。
また、前期の期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数ならびに前第2四半期の期中平均株式数(四半期累計)についても、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会資料の入手方法)

当社は、平成25年11月1日に証券アナリスト向け決算説明会を開催する予定であり、この説明会での配布資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	9
(1) 平成26年3月期 第2四半期 連結業績補足資料	9
(2) 平成26年3月期 連結業績見通し補足資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済情勢は、海外では、欧州政府債務危機問題の長期化、中国やインドにおける経済成長の減速等、依然として不透明な状況が継続している一方、国内では、政府・日本銀行による各種経済政策・金融緩和政策の効果に伴う株価の上昇や円高基調の緩和など、景気にやや持ち直しの動きも見られるようになりました。

こうした中で、当社グループでは、平成23年度からスタートした3か年の中期経営計画「Hitz Vision」のもと、社会的存在感のある高収益企業への進化を目指して、事業と経営管理のイノベーションの観点から、伸長分野への経営資源の重点投入と事業伸長力の強化、収益力の向上、財務体質の強化、新事業・新分野の開発といった重点施策を鋭意推進するとともに、収益の源泉となる受注の拡大に努めてまいりました。

以上のような取り組みを進める中で、当期の受注高は、プロセス機器部門及び精密機械部門で大口工事の受注があったものの、環境・プラント部門において大口工事の受注が減少したこと等から、前年同四半期を下回る143,174百万円となりました。また、売上高については、機械部門における売上減少等により、前年同四半期を下回る128,198百万円となりました。

損益面では、営業損益は、インフラ部門が前年同四半期に比べ改善したものの、環境・プラント部門及び機械部門の悪化等により、前年同四半期の利益計上から転じて3,719百万円の損失計上となりました。また、経常損益についても、営業損失及び持分法による投資損失の計上等により、3,880百万円の損失計上となりました。

この結果、四半期純損益についても、4,075百万円の損失計上となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しております。これに伴い、前年同四半期の数値につきましても、変更後の区分に組み替えて記載しております。

①環境・プラント

過年度に受注した環境大口工事の売上が一巡したこと等に伴い、売上高は前年同四半期を下回る73,316百万円、営業損益も前年同四半期の利益計上から転じて、1,232百万円の損失計上となりました。

②機械

船用原動機等が低調に推移したことにより、売上高は前年同四半期を下回る24,257百万円、営業損益も前年同四半期の利益計上から転じて、274百万円の損失計上となりました。

③プロセス機器

前連結会計年度に完全子会社化したNAC International Inc.の売上高が当第2四半期連結累計期間に加わっていること等により、売上高は前年同四半期を上回る6,159百万円となりましたが、営業損益は前年同四半期の利益計上から転じて、533百万円の損失計上となりました。

④インフラ

公共事業における厳しい受注環境の中にあって、売上高は前年同四半期を上回る12,047百万円、営業損失は前年同四半期から改善し、1,157百万円となりました。

⑤精密機械

関連する業界の設備投資に明るい兆しが見え始めたことから、売上高は前年同四半期を上回る8,255百万円となったものの、営業損益は前年同四半期の利益計上から転じて、536百万円の損失計上となりました。

⑥その他

売上高は4,161百万円、営業利益は104百万円と、いずれも前年同四半期を下回る結果となりました。

当社グループの事業の性質上、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きく、売上高が連結会計年度末に集中することから、業績は季節的変動が大きくなる傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売上債権の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少等により、前連結会計年度末に比べて26,262百万円減少し、340,084百万円となりました。負債の部は、仕入債務の支払いに伴う支払手形及び買掛金ならびに未払費用の減少等により、前連結会計年度末に比べて21,098百万円減少し、230,123百万円となりました。純資産の部は、四半期純損失の計上等により、前連結会計年度末に比べて5,164百万円減少し、109,961百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は概ね計画どおりに推移しており、平成26年3月期の業績予想につきましては、前回(平成25年5月17日)公表値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	59,249	47,544
受取手形及び売掛金	107,833	80,199
有価証券	45	54
商品及び製品	671	880
仕掛品	14,949	23,350
原材料及び貯蔵品	3,716	4,196
その他	16,222	20,929
貸倒引当金	△1,450	△1,271
流動資産合計	201,237	175,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	33,988	33,230
土地	67,722	67,723
その他(純額)	21,761	20,876
有形固定資産合計	123,472	121,830
無形固定資産		
のれん	4,735	4,866
その他	2,246	2,300
無形固定資産合計	6,982	7,167
投資その他の資産		
その他	35,651	36,348
貸倒引当金	△1,037	△1,176
投資その他の資産合計	34,614	35,171
固定資産合計	165,069	164,169
繰延資産	39	31
資産合計	366,346	340,084

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	52,499	33,379
電子記録債務	—	11,018
短期借入金	36,523	31,184
未払費用	37,140	29,573
未払法人税等	2,320	1,393
前受金	16,754	17,984
役員賞与引当金	81	6
保証工事引当金	5,579	4,747
工事損失引当金	9,794	9,186
その他	10,377	9,163
流動負債合計	171,070	147,638
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	55,500	57,018
退職給付引当金	9,829	10,966
役員退職慰労引当金	693	470
資産除去債務	933	938
その他	3,192	3,090
固定負債合計	80,150	82,484
負債合計	251,221	230,123
純資産の部		
株主資本		
資本金	45,442	45,442
資本剰余金	5,973	5,973
利益剰余金	48,314	42,671
自己株式	△1,798	△1,986
株主資本合計	97,931	92,100
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	292	609
繰延ヘッジ損益	△1,110	△1,097
在外子会社年金債務調整額	879	879
土地再評価差額金	△21	△21
為替換算調整勘定	442	954
その他の包括利益累計額合計	482	1,324
新株予約権	0	0
少数株主持分	16,710	16,535
純資産合計	115,125	109,961
負債純資産合計	366,346	340,084

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	133,230	128,198
売上原価	111,645	112,579
売上総利益	21,585	15,618
販売費及び一般管理費	19,690	19,338
営業利益又は営業損失(△)	1,894	△3,719
営業外収益		
受取利息	36	38
受取配当金	85	129
持分法による投資利益	957	—
その他	343	1,492
営業外収益合計	1,423	1,660
営業外費用		
支払利息	704	599
持分法による投資損失	—	799
その他	569	422
営業外費用合計	1,273	1,821
経常利益又は経常損失(△)	2,045	△3,880
特別損失		
厚生年金基金脱退拠出金	841	—
特別損失合計	841	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,204	△3,880
法人税等	377	230
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	826	△4,111
少数株主利益又は少数株主損失(△)	23	△35
四半期純利益又は四半期純損失(△)	803	△4,075

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	826	△4,111
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△323	325
繰延ヘッジ損益	77	53
為替換算調整勘定	△177	401
持分法適用会社に対する持分相当額	△32	191
その他の包括利益合計	△456	971
四半期包括利益	370	△3,140
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	346	△3,233
少数株主に係る四半期包括利益	23	93

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 平成26年3月期 第2四半期 連結業績補足資料

①連結損益計算書

(単位:億円)

		24年度第2四半期 累計期間		25年度第2四半期 累計期間		比較	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
売上高・ 営業利益	環境・プラント	745	5	733	△12	△12	△17
	機 械	304	27	242	△3	△62	△30
	プロセス機器	50	0	62	△5	12	△5
	インフラ	112	△22	120	△12	8	10
	精密機械	78	2	82	△5	4	△7
	その他	43	6	42	0	△1	△6
	合 計	1,332	18	1,281	△37	△51	△55
営業外 損益	金利負担額		△5		△4		1
	持分法による投資損益		9		△8		△17
	その他		△2		11		13
	計		2		△1		△3
経 常 利 益		20		△38		△58	
特 別 損 益		△8		—		8	
税金費用・少数株主損益		△4		△2		2	
四 半 期 純 利 益		8		△40		△48	

※営業利益の「その他」には消去を含んでおります。

②連結受注高

(単位:億円)

セグメント	24年度第2四半期 累計期間	25年度第2四半期 累計期間	比較
環境・プラント	1,588	809	△ 779
機 械	271	261	△ 10
プロセス機器	19	90	71
インフラ	104	105	1
精密機械	74	126	52
その他	43	40	△ 3
合 計	2,099	1,431	△ 668

③連結受注残高

(単位:億円)

セグメント	25年3月末	25年9月末	比較
環境・プラント	3,393	3,469	76
機 械	419	437	18
プロセス機器	327	355	28
インフラ	247	232	△ 15
精密機械	76	120	44
その他	4	2	△ 2
合 計	4,466	4,615	149

(注) 当四半期よりセグメント区分を変更したことに伴い、併記しております24年度第2四半期の連結損益計算書及び連結受注高ならびに25年3月末の連結受注残高についても、変更後の区分に組み替えております。

④連結貸借対照表

(単位:億円)

科 目	25年3月末	25年9月末	比較
現金及び預金	592	475	△ 117
受取手形及び売掛金	1,078	802	△ 276
棚卸資産	193	284	91
有形・無形固定資産	1,305	1,290	△ 15
その他	495	549	54
資産の部合計	3,663	3,400	△ 263
支払手形及び買掛金	525	444	△ 81
有利子負債	1,026	988	△ 38
その他	961	869	△ 92
負債の部合計	2,512	2,301	△ 211
株主資本	979	921	△ 58
その他の包括利益累計額	5	13	8
少数株主持分他	167	165	△ 2
純資産の部合計	1,151	1,099	△ 52
負債・純資産の部合計	3,663	3,400	△ 263

⑤連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:億円)

科 目	24年度第2四半期 累計期間	25年度第2四半期 累計期間	比較
営業活動によるキャッシュ・フロー	81	△ 41	△ 122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 34	△ 18	16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 194	△ 60	134
為替換算差額	1	9	8
現金及び現金同等物の増加減少額	△ 146	△ 110	36
現金及び現金同等物の期首残高	666	564	△ 102
その他増加減少額	1	0	△ 1
現金及び現金同等物の期末残高	521	454	△ 67

(2)平成26年3月期 連結業績見通し補足資料

①連結損益計算書

(単位:億円)

		25年度見通し (H25.5.17公表)		25年度見通し (H25.10.31公表)		比較	
		売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
売上高・ 営業損益	環境・プラント	1,900	100	1,930	106	30	6
	機 械	500	10	500	10	0	0
	プロセス機器	190	13	160	7	△ 30	△ 6
	インフラ	280	△ 10	280	△ 10	0	0
	精密機械	240	8	240	8	0	0
	その他	90	9	90	9	0	0
	合 計	3,200	130	3,200	130	0	0
経 常 利 益		100		100		0	
当 期 純 利 益		75		75		0	

※営業損益の「その他」には消去を含んでおります。

②連結受注高

(単位:億円)

事業セグメント	25年度見通し (H25.5.17公表)	25年度見通し (H25.10.31公表)	比較
環境・プラント	2,400	2,400	0
機 械	500	550	50
プロセス機器	350	300	△ 50
インフラ	360	360	0
精密機械	300	300	0
その他	90	90	0
合 計	4,000	4,000	0